

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

10月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告数389件(前月比5.6、前年比3.2)と昨年より早く流行期に入りそうです。菊池（定点当たり患者数9.63）八代（7.43）宇城（6.17）が目立ちます。

小児科定点

（全体傾向）

報告総数4,218件(前月比1.12、前年比1.61)で3月以降ほぼ横ばいです。感染性胃腸炎が多いですが伝染性紅斑の増加が目立ちます。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 382件の報告です。前月比0.4、前年同月比1.2と9月をピークに例年通りに減少傾向です。1歳児を中心としてほぼ2歳以下の報告です。水俣(20.50)、菊池(20.00)が目立ちます。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数125件(前月比1.4、前年比2.1)と、例年並みの動きです。1歳での報告が多いようです。菊池(7.80)、宇城(6.50)が目立っています。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数436件(前月比1.6、前年比1.6)です。例年と同様の傾向です。5歳を中心として、3歳～7歳で多いです。菊池(20.00)、人吉(19.00)に多いようです。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数1,510件(前月比1.4、前年比1.3)とやや増加していますが推移は例年と同様と考えます。年齢では1歳にピークがありますが、5歳まで3桁の報告数です。菊池(78.8)、山鹿(75.5)からの報告が多いです。
5. 水痘 : 報告数43件(前月比1.2、前年比1.6)と、例年同様の推移です。有明(3.00)、御船(2.00)でした。
6. 手足口病 : 報告数451件(前月比1.3、前年比3.1)と6月をピークに減少していましたがやや増加傾向です。有明(35.60)、菊池(22.60)に多く見られます。
7. 伝染性紅斑 : 報告数248件(前月比2.2、前年比124.0)と、急激に増加してきています。有明(15.20)に多いようです。
8. 突発性発疹 : 報告数133件(前月比1.1、前年比1.1)と、報告数も含めて推移は例年並みと思われる。6か月から1歳の報告がほとんどです。
9. ヘルパンギーナ : 報告数196件(前月比0.6、前年比1.1)と7月をピークに例年同様の推移で減少しています。天草(9.00)、菊池(7.80)に多くみられます。
10. 流行性耳下腺炎 : 報告数47件(前月比0.9、前年比2.1)と昨年から引き続き低水準が続いています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数102件(前月比0.9、前年同月1.2)
20～59歳に多発していますが、1～3歳の乳幼児層、50～59歳代の発症も目立ちます。地域別では熊本市以外では、今月も有明地区から多くの報告があります。

STD定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：

報告数76件（前月比1.3、前年同月比1.4）で、前月比、前年同月比とも増加しています。男女別は、男性に55件と多く見られました。年齢別では、男性は20～29歳に32件と多く、女性は15～44歳に20件と多く見られています。地区別は、熊本が55件と圧倒的に多く、次いで八代8件、有明5件、宇城4件、御船3件、菊池1件でした。

2. 性器ヘルペスウイルス感染症：

報告数23件（前月比1.0、前年同月比0.8）で、前月比は1件減少、前年同月比も減少しています。男女別は、男性に15件と多く見られました。年齢別では、男性は15～69歳、女性も20～59歳と幅広く見られています。地区別は、熊本が15件と多く、次いで八代、宇城に各3件、菊池、有明に各1件でした。

3. 尖圭コンジローマ：

報告数は6件（前月比0.5前年同月比1.2）で、前月比では減少、前年同月比は1件増加しています。男女別は、男性に5件と圧倒的に多く見られています。年齢別では、男性は25～69歳と幅広く見られています。女性は15～19歳に1件見られています。地区別は、すべて熊本でした。

4. 淋菌感染症：

報告数は21件（前月比1.6、前年同月比1.5）で、前月比、前年同月比とも増加しています。男女別では、男性に20件と圧倒的に多く見られています。年齢別では、男性は20～44歳に17件と多く見られ、女性は20～24歳に1件見られています。地区別は、熊本14件と圧倒的に多く、次いで宇城3件、有明2件、御船、八代に各1件でした。

基幹定点

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：

報告数は18件（前月比：0.9、前年同月比：0.9、男女比：12/6）で横向き推移にあります。熊本(8)、阿蘇(7)、人吉(3)でした。年齢分布としては1-4歳・55-59歳(1)、70歳以上(16)と引き続き高齢者で集中して多く検出されました。
▼例年並みの報告数で推移しています。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：

報告数は4件（前月比：1.0、前年同月比：0.8、男女比：3/1）で横向き推移にあります。熊本(4)のみでした。年齢分布としては1-4歳(3)、70歳以上(1)でした。
▼ほぼ例年並みに推移しています。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：

報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-、男女比：-/-）で報告はありませんでした。
▼例年同様に散発的な報告のみになります。

（週報分）

1. 細菌性髄膜炎：

報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年並みに推移しています。

2. 無菌性髄膜炎：

報告数は2件（前月比：2.0、前年同月比：2.0）で増加に転じました。熊本(2)でした。年齢分布は25-29歳・55-59歳(1)でした。
▼例年同様に推移しています。

3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は6件（前月比：3.0、前年同月比：1.5）で増加傾向にあります。水俣(4)、熊本(2)でした。年齢分布は5-9歳・10-14歳(3)でした。
▼例年に比べやや高めに増加傾向に推移をしています。
4. クラミジア肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年同様に散発的な報告のみになります。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：
報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で引き続き報告はありませんでした。
▼例年同様にこの時期の報告はほぼありません。

届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	23件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	1件
4類感染症	： 重症熱性血小板減少症候群	1件
	つつが虫病	2件
	レジオネラ症	7件
5類感染症	： カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3件
	急性脳炎	1件
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
	後天性免疫不全症候群	1件
	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
	水痘（入院例）	1件
	梅毒	9件
	百日咳	37件
	風しん	1件